

西 区を豊かに

第21号

発行者 新潟市西区自治協議会
会長 岩脇 正之

事務局 〒950-2097
新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内
TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650
E-mail: chiiki.w@city.niigata.lg.jp

西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟スイカ、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽を乗せました。

知っぴなっぴなっ 街のタネ

赤塚神社ものがたり

旧赤塚村の歴史は古く、平安時代には越後平野の水域を船で結ぶ河港で、航海の安全を願う船江神社を祀っていました。

(出典：新潟市合併町の歴史)
しかし寛治期の地震・津波で船江神社一帯が浸水したため、村落が現在地に移って以来、本村の産土神として豊饒したのが赤塚神社(伊邪那岐大明神)の始まりと記録にあります。

(出典：昭和9年旧赤塚村村報録 一覽)
現在の神主真田雅好氏は、真田大和家の25代目。真田家は天正時代以来江戸時代末期まで、代々神主免許状を与えられてきており、かつては142社を支配したとあり、現在も46社に奉仕しています。

このように由緒ある神社であるが、特筆すべきは赤塚太々神楽や稚児舞の伝統を受け継ぎ、赤塚神社のほか、角田、五十嵐、越前浜など5箇所を回り奉納をし続けていることです。

稚児舞は、事情により中止した時期もあったが、現神主さんはじめ地域の関係者の熱い思いから見事に復活をみしました。
4月15日が祭礼。



赤塚太々神楽



稚児舞



自治協議会委員が交代します

西区自治協議会は、委員の改選を実施するため委員推薦会議を編成して、委員の全体構成と公募委員の公募要領を定めて作業を進めてきました。第5期委員から第6期委員へ代わります。

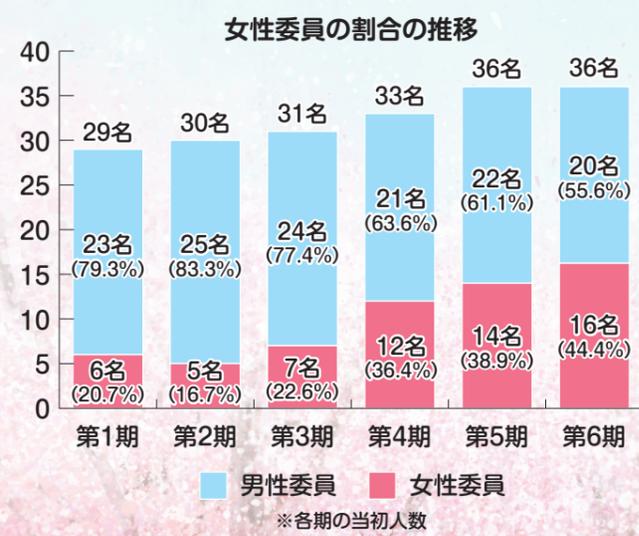
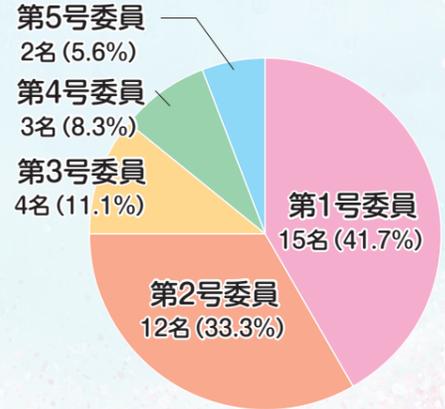
委員全体の構成では、西区内15コミュニティ協議会から各1名の第1号委員、公共的団体等からの第2号委員12名、学識経験者の第3号委員4名、公募委員の第4号委員3名、市長が必要と認める第5号委員2名の定員36名を決定し、団体・学識経験者等への就任依頼と公募委員の選考を行い、年度末の自治協議会本部での最終審議を経て、新潟市長へ委員の推薦を行いました。

次期委員は、4月に市長の委嘱を得て正式決定の運びとなります。新体制については、次号で詳しくお知らせします。

なお、女性委員は女性活躍社会を反映して44.4%となり、新潟市の第3次男女共同参画行動計画に定める平成32年度末までの目標値(45%以上)達成も目前となりました。



第6期各号の委員構成



また、第6期は自治協設立10周年の節目を迎えますが、多様化・複雑化する地域課題により的確に対応するため、区自治協議会の運営指針の改正と委員再任の運用明確化が図られ、第1号委員については2期4年から3期6年への再々任が可能となっています。

新春 お年玉付き クロスワードパズル

答え コシノリュウ

皆様から329通のご応募をいただきありがとうございました。いただいた広報紙の感想・自治協議会活動へのご意見は広報紙の編集委員をはじめ自治協委員にとって宝物になりました。

図書カードの当選者20名は、パズルの答えである西区かがやき大使の越乃リュウさんの抽選により選ばせていただきました。

当選者の方には2月末日に発送させていただきます。



リュウさんから読者のみなさんへメッセージ
チューリップも咲き、暖かくなります。みなさん外に出て西区の春を楽しみましょう。

~いただいたご意見・ご感想~

活動内容が分かって良い

街のタネ、歴史に学ぶ等西区の昔がわかった

写真がちりばめられていて見やすい



私の一枚

- ・タイトル 水たまり
- ・一言コメント 初めて見るなあ〜。何だろう？
- ・氏名 志賀 信正

募集しています

広報紙や自治協議会活動についての意見

◆住所・氏名・連絡先をお書き添えの上、広報紙1面の「事務局」あてに郵送または電子メールにて送付ください。

とっておきの私の一枚

◆あなたの「自慢の写真」(家族・ペット・風景・イベント等)に住所・氏名(氏名必須、ペンネームがあればペンネーム掲載・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えて応募ください。)(電子メール可) ◆採用には千円以上の図書カードを贈呈。 ◆応募写真は返却しません。 ◆締め切り5月末日(次号掲載予定) ◆送付先/広報紙1面の「事務局」あて。

編集後記

前号から見開きを使って特集記事を掲載しておりますが、今回は「西区自治協議会提案事業」のうち「DENJO cafe・Cafe 四ツ角」の「H28 うちの発掘ひろぐえく」と成果発表会をとりあげました。好評の「歴史に学ぶ」や「知ったく」も引き続き掲載いたします。次年度も広報紙「西区を豊かに」を一層充実すべく編集委員一同、奮闘します。ご期待ください。(小林満男)

パソコン・スマートフォンでもご覧になれます！
Web版西区を豊かに (西区役所ホームページ内)

西区自治協議会提案事業

商店街等活性化研究・実践事業 in うちの発掘ぷろじえくと成果発表会

商店街等活性化研究・実践事業とは

西区の商店街等の活性化に寄与するために「西区拠点商業活性化推進事業計画」の拠点商業地である内野を対象に、新潟大学や新潟国際情報大学と連携して、若者の柔軟な発想を取り入れながら研究・実践に取り組みました。

その研究成果を、1月21日に内野まちづくりセンターにて、本事業と同じく、内野を元気にすることを目的とする「うちの発掘ぷろじえくと」とともに、商店街・商工会関係者をはじめとした内野地域の方々に発表しました。

これを契機に、次年度以降も内野の商店街等の活性化について、実践・研究に取り組んでいく予定です。

うちの発掘ぷろじえくととは

人口減少、少子・超高齢社会のなか、まちが将来にわたり持続可能で元気なまちとなるにはどうしたらよいのか。この内野をフィールドにして研究・実践してみたい、そんな想いのもと平成27年度から西地区公民館で始めた講座です。

内野の地域資源(宝)を発掘し、その資源を活かし、まちを元気にする取り組みを行うもので、地域住民、大学生、行政職員が参加し、8つのグループに分かれて、参加者主導で研究・実践してきたものです。

商店街等活性化研究・実践事業の研究メンバーも参加して、研究の実践に取り組んできました。

成果発表

研究成果を、商店街・商工会関係者など、内野地域の方々に広く発信するため、「うちの発掘ぷろじえくと」と合同で発表会を行いました。

西区自治協議会提案事業

新潟国際情報大学 うちのDEこすぶれ

コスプレイベントの定期開催を通して、若者の誘客、内野地域の飲食店等の利用に繋げ、賑わいを創出する提案をしました。内野まちづくりセンター等での実証実験を踏まえ、今後も定期開催を行うことで地域を巻き込んだイベントとなるよう取り組んでいきます。



発表の様子

新潟大学 café四ツ角

内野地域に大学生が訪れるきっかけを作り、交流が生まれるよう、内野四ツ角の空き家を利用して地域の方々と学生が自然に交流できるスペースを作る提案をしました。今後は具体的な運営方法について研究を進めていきます。



発表の様子

うちの発掘ぷろじえくととの6つの取り組み

うちのをよ〜く知るプロジェクト

内野の魅力を発掘・紹介して、内野のファンを増やしたいという思いから、まち歩きガイドの会(仮)を設立し、1月に「新春うちのまち歩き」を開催しました。今後は正式な会の発足に向けて活動をしていきます。

空き家・空き店舗活用プロジェクト

空き家の実態調査を実施し、対象区域に多くの空き家・空き店舗が存在し、全国と同じく内野も空き家問題が深刻化していることが判明しました。今後はこの調査をもとに地域住民が自らの問題として、その利活用を考えてもらえるよう活動していきます。

内野文芸のふるさとプロジェクト

内野から多くの文芸に秀でた人材を輩出しています。このことを地域住民に周知を図るとともに、文芸作品等にちなんだ地名(通称名)の検討や、フットパス(楽しみながら歩くことができる小径)ウォーキングマップを作ってまち歩きを計画していきます。

うちの歌声の和合唱団プロジェクト

歌で幸せの輪を内野に広げたいとの思いから、グループ化に向け準備・練習をすすめてきました。3月に結成記念発表会を行い、さらに活動を充実していきます。

うちのなかよしプロジェクト

大学生、小学生、地域の方々が交流できる居場所を内野に作る活動です。イベントとして8月には大学生と小学生が交流できるイベント、12月には地域の方も巻き込んだクリスマスイベントを開催しました。今後も新たな企画の実施を考えていきます。

内野暮らしBOOKプロジェクト

内野には面白いものがあり、暮らしを豊かにするものがたくさんあります。そこで新潟大学への県外からの進学生に内野を紹介して、内野に来てほしいと思い「内野暮らしBOOK」を作成しました。内野で暮らすとはどのような事なのか様々な角度からわかるようになっています。2月の新潟大学前期入学試験で冊子を配布しました。

部会・プロジェクトチーム 第5期の取り組みをふりかえる

成果と課題

36名の委員で第5期西区自治協議会が始動して2年。防災、除雪、子育て、高齢化、公共交通、農業など地域の課題を分野ごとに検討してきた3つの部会と、2つのプロジェクトチームがそれぞれの活動内容について振り返ります。

第1部会 防犯、防災、自然環境、住環境

東日本大震災の発生以降、防災意識が高まる中、地震や津波からの防災について議論を深め、提案事業として「小・中学校における防災公開授業」を実施し、地域のさらなる防災意識向上に繋げることができました。

からだをまえる「ダンゴムシのポーズ」



防災公開授業

第2部会 保健福祉、文化、教育

提案事業として「高齢化をテーマにした講演会」「スポーツ鬼ごっこ普及啓発事業」を実施したほか、地域包括ケアシステム、民生委員推薦制度、教育ミーティングなど幅広い分野の地域課題について検討を深めました。



スポーツ鬼ごっこ

第3部会 農林水産業、商工業、交通

区の魅力向上や賑わい創出について議論を深め、提案事業として区の魅力を盛り込んだ「西区ふれあいカレンダー」の作成や、内野拠点商業地活性化に向けた「商店街等活性化研究・実践事業」を実施しました。



西区ふれあいカレンダー

プロジェクトチーム1 自治協広報紙の編集

自治協議会の活動を知っていただくため、「西区を豊かに」を8回発行しました。見出し、文章量、写真、色使いを工夫し、読者からのご意見も反映させるなど、親しみやすい紙面になるよう心がけました。引き続き感想等お寄せいただければ幸いです。



広報紙バックナンバー

プロジェクトチーム2 西区アートフェスティバルの企画・実施

第4期に引き続き「西区の宝」を発信・共有する場として、西区アートフェスティバルを2回開催しました。第5期では音楽・芸能分野の発表に加え、西区にちなんだ多様なアート作品の展示もあわせて行い、より一層充実した内容で多くの区民に喜ばれました。



西区アートフェスティバル